

本年度学校教育努力点とその推進計画

(1) 研究のテーマ

「ともに学び ともに高める」

－ ひらこう！ まなびのとびら つなごう！ みんなのこころ －

(2) 基本的な考え

学校は楽しいところです。「楽しい」とは、その場限りのただ楽しいもあれば、分からないことやできないことに粘り強く立ち向かい、「分かった」「できた」という時に得られる楽しさもあります。場合によっては、課題を解決することはできなかったけれど、時間をかけて友だちと話し合ったり、協力して取り組んだりした、その過程が楽しかったということもあります。また、課題を解決したら、新たな課題が見付かったといった学びの本質を突いた楽しさもあります。こうした多様な学びは、自分一人では気付かなかった考えに出会ったり、自分の考えが深まったり広まったりして認識を新たにしたり、一人では解決できないことをみんなで力を合わせて解決したり、そんな経験を学校で、毎日の生活の中で、たくさん味わわせたい、そして、「生きる力」を培いたいと私たちは考えています。

そこで本校は、北中ブロックの共通の努力目標「ともに学び ともに高める」を受け、昨年度に引き続き今年度も、学校教育の努力目標の合言葉を「ひらこう！ まなびのとびら つなごう！ みんなのこころ」とし、主体的・対話的で深い学びを実現することで、本校の校訓にある「強く 正しく やさしい 西味鉾っ子の育成」に迫りたいと考えました。

一昨年度、「めあて」に対する「振り返り」であることを意識させるために、OPP(One Page Portfolio)シートを使って学びの履歴を見える化することで、子どもたちは、自身の学習の定着の状況や成長を自覚することが容易になりました。さらに、学びの履歴に教師が働き掛けることで、自身の学びを見つめ直したり調整したりする子どもの姿を見ることができました。また、学びの履歴は、教師が授業の展開を見直したり調整したり、授業改善したりすることにも役立ちました。これは、「目標と指導と評価の一体化」が図られた証です。

昨年度は、「めあて」を達成するための方法・手だてを身に付けさせることで、これまで以上に主体的に学習に取り組む子どもを育てることができました。ここでいう方法・手だてとは、既に習得している見方・考え方を働かせ、一人で考えたり、友達や教師に相談したり、観察・実験をして確かめたりすることなどを指しますが、それを選択するには、学習の早い段階で、学習の見通しをもたせることが重要です。昨年度は、「めあて」を達成する方法を選ばせることに着目してしまい、学習を通して得た学びを「振り返り」として OPP シートに記述させることができませんでした。

そこで、今年度は、適切な方法・手だてを選択し、粘り強く学習に取り組ませるために、教師が、随時、一人ひとりの学習状況や思考の流れを見取り、適切な働き掛けをすることが必須であると考えます。そして、これらを可能にするのが、OPPシートです。また、OPPシートを使うことにより、学習を通してどんな資質・能力を身に付けることができたかが明らかになり、それが新たな見方・考え方となって、次の学びにつながります。

こうした一連の学びを通して、一人ひとりが自ら課した課題に対して、見通しをもって主体的・循環的に取り組み、学びの扉を一つ、また一つと拓いていく姿や、一連の学びや活

動に、協働的・対話的に取り組み、自分一人では解決できなかった課題を解決したり、本当のものを見つけたりする、そして、みんなの心が一つになる、つながる、そんな子どもたちの姿をたくさん見たいと考えています。

(3) 実践計画

主体的・対話的で深い学びを実現するために、以下のように、4年計画で実践に取り組めます。

1年目:「めあて」に対する「振り返り」を重視した学びの履歴を見える化し、学んだことを今後の学習や生活に生かすことができるようにします。

2年目:「めあて」を達成するための方法を自ら模索し、見通しをもって学習を進めたり子どもたち同士で協働したりすることができるようにします。

3年目:「めあて」を達成するための方法を実践し、学んだことを適切な「振り返り」がで(今年度)きるようにします。

4年目:「めあて」を自ら設定し、見通しをもって他者と協働しながら学びを調整、課題を解決することができるようにします。

(4) 主体的・対話的で深い学びを実現するための手だて

手だて① 授業の冒頭で、子どもと教師が「めあて」を共有し、授業の終末で、一連の学習を通して何が分かったのか、何ができるようになったのかを見える化して「振り返り」ます。

手だて② 「まなび」の履歴を、ポートフォリオに残し、いつでも必要な時に自身の学びを振り返って活用することができるようにします。

手だて③ 儀式的行事、学芸的行事、遠足・宿泊的行事、健康安全・体育的行事のスローガンを「つなごう! みんなのこころ」とし、友だちや教師、保護者や地域の人と関わる中で、自分で考え、実践する主体的に取り組むことができる雰囲気醸成し、楽しい学校づくりを目指します。

(5) 研究の方法

① 授業実践について

- 年に2回授業実践を行う。(1回は、保護者を対象にした授業参観)
- 公開授業の前後には、それぞれの部会で検討会を行う。
- 教科についての指定はしない。

② 行事での取り組みについて

「つなごう! みんなのこころ」プロジェクトでは、協働的な学びを通して、子どもたちが集団で活動する楽しさを味わったり、自分で考え、実践したりすることができるよう、活動内容や場の設定の工夫をする。

(6) 研究のまとめについて

年に2回、中間報告会、最終報告会を行う。最終報告会は、北中キャリアナビゲーターとともにいき、キャリア教育の視点を取り入れて振り返り、次年度に生かす。